

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 新日鐵住金(株) 広畑製鐵所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

<目標>

「地域から信頼される製鐵所」として、環境負荷低減に努め、環境保全型社会の構築に貢献していく。

<重点目標>

1. 環境関連法、条例、協定等の徹底遵守
2. 環境保全活動の継続的な改善の推進
3. 排水、ばい塵等の環境汚染予防対策の推進
4. 省エネルギー、省資源、リサイクル活動の推進

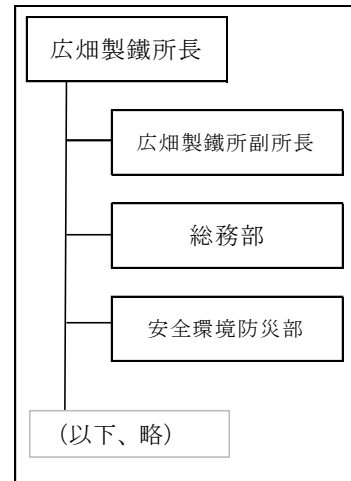
1-2 環境保全活動に関する組織体制

1 公害防止組織法に基づく公害防止組織

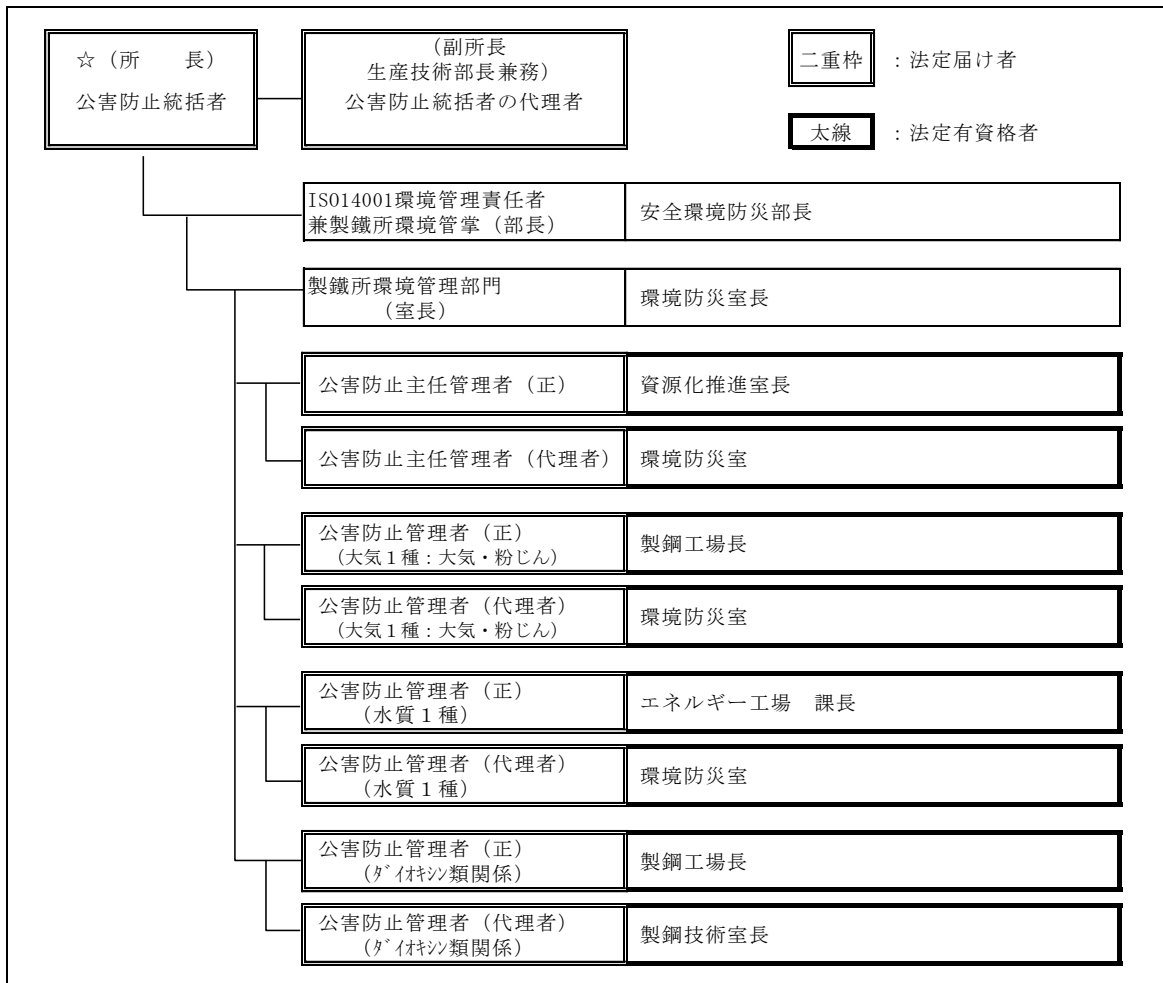
公害防止統括者	職名	広畑製鐵所 所長
	氏名	
公害防止統括者の代理者	職名	副所長 生産技術部長兼務
	氏名	
公害防止主任管理者	職名	資源化推進室長
	氏名	
公害防止主任管理者の代理者	職名	環境防災室 主幹
	氏名	
公害防止管理者 (大気1種)	職名	製鋼工場長
	氏名	
公害防止管理者の代理者 (大気1種)	職名	環境防災室 主幹
	氏名	
公害防止管理者 (水質1種)	職名	エネルギー工場 課長
	氏名	
公害防止管理者の代理者 (水質1種)	職名	環境防災室 主幹
	氏名	
公害防止管理者 (ダ イキソ 類関係)	職名	製鋼工場長
	氏名	
公害防止管理者の代理者 (ダ イキソ 類関係)	職名	製鋼技術室長
	氏名	

備考：上記の代わりに、公害防止に関する組織系統図をもって報告することができる。

2 広畑製鐵所組織図（抜粋）



3 環境管理組織の体系



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
大気環境 保全活動	(1) 粉塵対策の継続実施 ・ H25 年度対策として次の新たな対策を完了 ①製鋼地区：炉下車両進入口の開閉ゲート設置（3箇所） H25 年 6 月使用開始 主原料輸送コンベア集塵化 H24 年 12 月～使用中 ②DPR 地区 ア)集塵機安定化対策（配管閉塞防止）H26 年 6 月中旬完成 イ)原料搬送ベルトコンベア落鉱防止対策 H25 年 8 月完成 ③土間駐車場の舗装範囲拡大（約 1 千㎡） H25 年 7 月完成 ・ 道路散水、ヤード散水、高所ミスト散水の強化実施 ・ 発塵抑制対策設備の維持管理強化	・ H25 年度までの対策の継続効果発揮 ・ H26 年度粉塵対策の実行 ①製鋼地区建屋集塵の効率化 ②製鋼工場密閉強化 ③DPR 地区落粉対策 継続実施
	(2) 大気汚染防止法に基づくばい煙監視の体制強化（構内他企業含む）	主要他社の環境監査実施
排水管理 強化活動	(1) 毎月の各工場模擬排水停止訓練の実施	6 月環境月間中に各排水口系排水停止訓練実施
	(2) 6 月環境月間での各排水口系統一斉排水停止訓練実施	
	(3) 排水監視機器の維持管理継続中	継続実施
	(4) 構内他社の管理指導 ・ 環境管理部門による主要 14 社の環境監査実施	主要他社の環境監査実施
臭気・騒音対策	(1) 臭気対策の推進 ・ 構内他社も含め臭気懸念箇所の調査と対策の推進	継続推進
	(2) 騒音対策の企画 ・ 騒音発生源の調査と抑制対策の企画及び対策の推進	継続推進
廃棄物適 正処理化	(1) 構外委託処理の構内処理化拡大	継続推進、 電子マニフェスト化
	(2) スラッグの利用用途拡大の企画推進	継続推進
省エネ ギー活動	(1) 省エネ対策工事の着実な実行	実行中
	(2) 身近な省エネ活動の推進	継続中
ISO14001	(1) 内部監査の実施 ・ H25 年 10 月～H25 年 12 月、全部門実施完了	H26 年 11 月から全部門実施予定
	(2) 外部審査会社（JICQA）での更新審査 ・ H25 年 12 月 19-20 日完了⇒3 月 5 日付けで継続登録完了	H27 年 2 月定期審査予定
環境教育	(1) ISO14001 教育の実施 ・ ISO システムの一貫として各部門ごとに実施	継続実施
	(2) 所内教育計画に基づく実施 ・ 年代別、階層別教育計画に基づき実施（5 種類）	継続実施
地域社会 活動	(1) 工場見学受入（受入者総数：約 5013 人）	継続実施
	(2) 製鐵所周辺清掃活動 ・ 正門通り：3 回/年、 ・ 東門通り：2 回/年、 ・ 電磁東通り：4 回/年	継続実施
緑化対策	(1) 既存緑化に維持管理強化	景気回復に併せ実施
グリーン 購入	(1) グリーン購入推進 ・ コピー紙、名刺、トイレット紙は 100%再生紙品を購入 ・ 事務用品のエコマーク品優先調達を推進	継続実施